

敬愛大学「海外スクーリング（海外研修プログラム）」における moodleでの教材作成の進捗状況

石橋嘉一
（敬愛大学 特任教員）

はじめに

敬愛大学では、千葉圏域大学コンソーシアム構築において、国際教育の充実を大きな柱に掲げております。本事業における敬愛大学の取り組みとしては、国際教育に関わる「海外研修プログラム」と「一年次基礎演習（日本語基礎教育）」の2つプログラムの充実を主に図っております。本報告は、その内の海外研修プログラムにおけるものです。

海外スクーリングについて

敬愛大学の海外研修は、「海外スクーリング」と呼ばれ、地域研究を中心とする教員が、自分のフィールドワークに学生とともに学びに行くといった充実した異文化体験型の海外研修プログラムとなっています。本研修は、開発途上国を中心とした諸外国で、貴重な体験学習の機会を学生に提供するもので、単位認定を受けられる敬愛大学独自の海外研修プログラムです。

moodleの活用に向けて

敬愛大学では、コンソーシアムの取り組みに合わせ、海外スクーリングをe-learningで支援する方向となりました。具体的には、渡航前の事前学習、所謂、海外情勢に興味関心を持ち、情報収集を行い、異文化に対する知識の習得と現地での生活・活動のノウハウを事前に学習するという事です。研修後も、研修で得た知識と体験をより内面化し、深い学習が行われるようe-learningの持つ特性を活用し、教材の開発に取り組んでいます。

進捗状況

海外スクーリングの教材開発では、教授モデルとして「IDI（Intercultural Development Inventory）」という「異文化感受性モデル」を理論的背景に用い、服装や料理といった表層レベルの相違だけではなく、文化的社会的な価値観やコミュニケーションの深層部分においても「気づき」が行われ、国際社会や異文化コミュニケーションにおいて深く有意義な学習となるよう教材開発に配慮されています。未だ開発段階ですが、次ページからコンテンツの一部を表示します。

授業案内：シラバス、授業掲示板等

■「海外スクーリング授業」案内■



KICLS (Keiai Intercultural Communication Learning System)

このコースは、教授として異文化感受性モデル(Intercultural Development Inventory)を理論背景に、インターフェイスとしては学習者中心(Student-Centered)に作成され、学習内容が深まるよう工夫されています。

教材リソースは全て無償のもの(Open Educational Resources)を活用することがモットーとされています。

授業シラバス

- 海外スクーリング I・II
- 授業掲示板
- 異文化感受性モデル(教員マニュアル)

Chapter 1 : 過去の研修報告集を活用した教員から学生へのメッセージ

1 「海外スクーリング」へようこそ！😊😊



敬愛大学海外スクーリングの主な実施国



先生方からのメッセージ！😊😊

- アジア
 - 📖 中国を担当した家近先生
 - 📖 ベトナム・カンボジアを担当した高田先生
- 北米
 - 📖 アメリカを担当した増井先生
- 南米
 - 📖 ブラジルを担当した矢澤先生
- 中東・ヨーロッパ
 - 📖 トルコを担当した水口先生

Chapter2：過去の研修の画像から現地での様子を学ぶ

3 先輩たちの海外での様子を見てみよう！！👀👀



楽しそうな写真がいっぱい！😊😊

イメージフォト集！😊😊

- 📁 スイス・フランス >>> >>> >>>
- 📁 台湾
- 📁 アメリカ・ニューヨーク
- 📁 トルコ



Chapter3：国際社会における政治、社会、文化等を動画で学習する

4 世界の国々について知ろう！👀👀



色んな国のビデオが見れるよ！👀😊

- 📁 米国(U.S.A)
- 📁 ブラジル(Brazil)
- 📁 ベトナム(Vietnam) >>> >>> >>>
- 📁 中国(China)
- 📁 台湾(Taiwan)



Chapter4: 国際社会が抱える様々な社会問題をスライドショーから学ぶ 学習者へ研修目的の内面化を図る

5 世界の国々が抱える問題 🌍🌍



写真で問題の状況を見る! 🌍🌍

- 📄 事例1: 中国の環境問題(スライドショー)
 - 📖 事例1の解説
- 📄 事例2: ラテンアメリカの社会的不平等(スライドショー)
 - 📖 事例2の解説

日本の国と比べてどう思う? 🌍🌍

↓↓↓

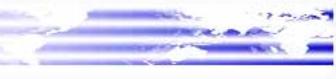


スライドショー CLOSE

Photo courtesy of Masako Shimizu / JICA

今後の開発：渡航に向けての実践編の充実と、帰国後の内省的な学習を取り入れる
レポートに研修の成果を効果的にまとめらるような機能を取り入れる

6 海外での生活の仕方 🌍🌍



◎ 模範例 🌍🌍
× 危険な例 🌍🌍

「カルチャー・ショック」について
講義2: 「異文化対応能力」について (ミルトン・ベネット (Milton Bennett) 先生からの示唆)

7 学習目標の設定とスケジュール作成 🌍🌍
あなたの海外スクーリングの目標は何ですか?! 🌍🌍

渡航予定表を作成するよ!

スケジュール帳に毎日の予定を書き込んでみよう! 🌍🌍

おわりに

以上が、敬愛大学海外研修プログラムにおける教材開発の進捗状況の概況です。
e-learning が持つ視聴覚教材としての特性を活かし、さらに教育工学や学習心理の理論的、
実践的な示唆を活用し、より良い学習者中心の教材を開発していこうと教職員一同取り組
んでおります。